
大乱闘スマッシュブラザーズX 亜空の使者 S P

川田たまお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大乱闘スマッシュブラザーズX 亜空の使者SP

【Nコード】

N9340D

【作者名】

川田たまお

【あらすじ】

フィギュア達の世界で恐るべし陰謀がうごめく！彼らは力を合わせ、世界の危機に立ち向かう。

プロローグ（前書き）

この小説は「大乱闘スマッシュブラザーズX」の1人用モード「亜空の使者」をオリジナル要素を組み込み小説化したものです。ネタバレありなので注意を。

ブローグ

ここはフィギュア達が実体化し、己を磨きあげるために闘う大乱闘の世界。

だが、そんな世界に恐ろしい陰謀が迫ってきていることに気付いているものは誰もいなかった

ここは闘技場。ちょうど今、ある2人の闘いが終結した模様である

「勝者はマリオです！」

そう言ったのはピーチ。彼女は親友のゼルダと闘技場の司会を担当していた。彼女らもフィギュアが実体化したのである

一方闘いの終わったフィールドにはフィギュアが一つ落ちている。カービィのフィギュアだ

そう、マリオと闘っていたのはカービィだった。この世界では勝負に敗北するとフィギュアに戻ってしまうのだ

だが、マリオがフィギュアに触れると突然フィギュアが光り始めた。そして実体化したのだ

誰かがフィギュアに触れれば再び実体化する。これがこの世界のルールである

観衆の歓声にこたえるように手をふる2人。そんな中で

「お前強いな、俺はマリオだ。よろしくな！」

「ぽよ！」

互いの強さを認めあい、握手をする2人。これによりさらにヒートアップする歓声。闘技場が激しい熱気につつまれたその時！

ゴゴゴゴゴ！！

突如上空に謎の戦艦が姿を現した。大きさは相当のもので闘技場を埋めつくすほどである

観衆は逃げ惑い、闘技場は混乱状態に！

「何だあの戦艦は…」

ここから彼らを含む様々なフィギュア達を巻き込む大乱闘が始まる！

第1話：カービーVSボスパックン

突如競技場の上空に現れた謎の戦艦。

パカッ！

ドアが開きその中から何者かが降りてくる

「あれは、エインシャント卿!？」

ゼルダが言った

「誰？知ってるの？」

ピーチが尋ねる

「ええ、各地を飛び回っている放浪者って聞いたことがあるけど……」

どうやらゼルダも詳しいことは知らないようだ。本当に謎多き人物ということであろう

「その… えと… エインシュタイン卿（だったっけ？）が何のようだ!？」

いや、エインシャント卿だってば

「……………」

エインシャント卿は何も答えず無言のままだ

「おい！無視かよ！いや待てよ、聞こえてないのかな？」

そう言うところどこに隠し持っていたのかメガホンを取り出した

そしてメガホンのスイッチを入れ

「oooooooooi

ドッカーン！！！！

どこからか大砲の玉みたいのが跳んできてマリオに命中！マリオは遠くに飛ばされてしまった

「ぽよー！！！！」

カービィはマリオが飛ばされた方角を見るが、余程遠くに飛ばされたのかもう姿を確認できなくなっている

「キヤーーツー！！」

「ぽよ！？」

カービィが驚いて振り替えるとそこには花の化け物が2つの檻を持って立っていた

そしてその檻の中には捕らわれの身となったピーチとゼルダの姿が確認できる

マリオなら一目でわかるが奴の名はボスパックン。マリオシリーズのボスキャラクターである

一体なぜこんなところに！？といった感じである

しかし今はそんなことを考えている場合ではない！一刻もはやく2人を助けださなければ！！

「ぽよっ！」

カービィは気合いを入れ直し、ボスパックンに立ち向かう

後ろでエインシャント卿が何かの準備を始めていることなど気付きもしなかった

「ぽよっ！！！」

カービィはハンマーを取りだしボスパックンに一撃を与える

「ぎゃおーっ！！！」

効いているように見えるが流石はボスキャラ、このくらいではやられたりしない

ボスパックンは持っている檻でカービィめがけて攻撃を仕掛ける

「ぼよっ！」

一応は避けたが中にいるピーチやゼルダは大丈夫なのか！？といった扱いである

長期戦は禁物だなと感じたカービィは再びハンマーで攻撃に移る

「ぎいゃー!!」

だがそれでも敵はひるまない！再び檻で攻撃してくる。

「ぼよーっ!!」

今度は避けきれずまともに当たってしまい、地面に叩きつけられてしまった

このままじゃやられる、どうすれば……

そう思ったカービィだが

「ぼよっ！」

すぐに打開策を思い付いた！

再びハンマーを担ぐとボスパックン向かって突進していく

ただし今回はボスパックン狙いではない、檻のほうだ！

バコーン!!

ハンマーで檻を壊し中のゼルダを救出する

「ありがとうカービィ、じゃあコンビネーションで一気に決着をつけるわよ!」

「ぽよっ!!」

2人は同時に動き出した。だが最初に技を打ったのはカービィだった

カービィはカッターを取りだし

「必殺!ファイナルカッター!!」

地面をも切り裂くカッターでボスパックンを圧倒する

さらに今の攻撃でもうひとつの檻、つまりピーチが入っている檻をボスパックンから切り離すことにも成功している

その間にゼルダはボスパックンの目の前にいた!

そう、カービィのカッター攻撃に気をとらせて接近したのだ

「くらいなさい!稲妻キック!!」

ばっちーん!!

鋭い音と共に電撃が発し、ボスパックンの顔面にヒットした!当たれば強烈な一撃である

「ぴぎゃー……っ！……！」

これにはボスパックンも耐えきれず、遂に力尽きて倒れこんだ

「やったわねカービィ」

「ばよー！」

見事2人の力を合わせ敵を倒すことに成功したのだ

さて、後は檻の中にいるピーチを助けに… と思った2人だったが

カチッ カチッ

「……何の音？」

そう思い振り替えて見ると、そこには2機のロボットと丸っこい機械があった

さらにその機械にはカウントダウン機能がついており、先ほどの音はこの音だった

「これって…… もしかして爆弾！？」

「ばよ……！」

カウントダウンが始まったのを確認するとエインシャント卿はその場を後にした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9340d/>

大乱闘スマッシュブラザーズX 亜空の使者SP

2010年10月10日14時03分発行